

米日教育交流協議会代表 丹羽筆人

## 在米親子にアドバイス

## 日米の教育事情

～日本から来た子どもの英語力の伸長

アメリカの学校では新年度が始まって3カ月になりました。新しい学年、新しい学校での生活はいかがでしょうか。日本から来たばかりの子どもは、そろそろ現地校での生活に慣れてきたところでしょ

う。全く異なる言語や文化の中に飛び込んだ子どもの苦労は大変なものだと思えます。しかし、このような体験は今後の人生にとって貴重なものとなるはずで

さて、ここでは英語力の伸長に関

## アメリカ生活を楽しむ ような工夫が必要

するお話をさせていただきま

御さんからしてみれば、アメリカの学校で学んでいるのだから英語ができるようになって当然とお考えかもしれません。しかし、英語力の伸長度合は渡米時期（年齢）や在米期間などによって異なりますし、性格なども影響します。年齢的には高学年になればなるほど伸び悩む傾向にあります。現地校の学習レベルもアップします。超えねばならないハードルも高く大変です。さらに、大

学入試をにらんでTOEFLやSAT、ACCTなどのスコアアップを図る必要もあるというようなプレッシャーも掛かります。一方、低学年の子どもは簡単な会話と読み書きができれば十分ついていけますが、とは言っても子ども同士で仲良くするの

が苦手な子どもの場合は、なかなか伸びが見られないというのも実情で

す。

ただし、子どもの英語力が伸びないからといって、無理に勉強させようとしてはいけません。現地校の先生に相談すると、家庭でも英語を使うように言われることもありすが、学校で苦しい思いをしているのですし、日本語学習という観点からお勧めできません。また、現地校での成績（GPA）や英検、TOEFLなどのスコアにこだわるのもよくありません。確かに、帰国生入試の際の出願書類の一つではあるのですが、決してそれだけが合否の決め手になるわけではありません。特に現地校の成績は、国や州によって仕組みが異なりますし、横並びでは判定できないのです。

英語力を伸ばすためには、まずアメリカ生活を楽しむようにしてあげるといいかと思

親御さんも積極的に現地校に関わったり、アメリカ人家庭との交流をしたりするとよいでしょう。せっかくアメリカで生活するのでしたら、より多くの人々と交流し、日本では見聞きできないことをたくさん体験し、楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思います。全米各地を旅行するのもよい方法です。これらの体験が英語力向上につながるのみならず、帰国生入試の面接や作文（小論文）などにも効果をもたらすのです。いづれにしても、アメリカに暮らしてよかつたなと思えるようになると思いますね。

（次回は12月24日号掲載）

米日教育交流協議会のウェブサイトに、当コラムのバックナンバーもお読みいただけます。

UJFEC Website: [www.ujfec.org](http://www.ujfec.org)